

河口無線カートリッジ試聴報告(2018.8.11)

河口無線では、ゴールデンウィーク、お盆休み、年末年始の休日などに合わせてオーディオ三昧という催しを行っています。本年も夏のオーディオ三昧が開催されていますが、これに合わせて、M氏の発案でMy Sonicのカートリッジの試聴の機会を持つことにしました。せっかくの機会ですから、オーディオ仲間のO氏、ST氏、I氏、H氏にもご参集いただきました。

<試聴システム>

My Sonicのカートリッジの試聴は既に夏のオーディオ三昧で行った[河口無線カートリッジ試聴報告\(2017.8.13\)](#)と冬のオーディオ三昧で行った[河口無線カートリッジ試聴報告\(2017.12.28\)](#)およびゴールデンウィークのオーディオ三昧で行った[河口無線カートリッジ試聴報告\(2018.5.1\)](#)で報告したとおり実施してきていますが、今回の目玉はMy Sonic Signature Platinumです。

カートリッジ：

My Sonic Signature Platinum



My Sonic Signature Gold (比較用)



トランス：

My Sonic Stage 301

フォノイコライザー：

Lux EQ-500

プレイヤー：

Lux PD-171A

アンプ：

ラックスマン プリアンプ C-900u

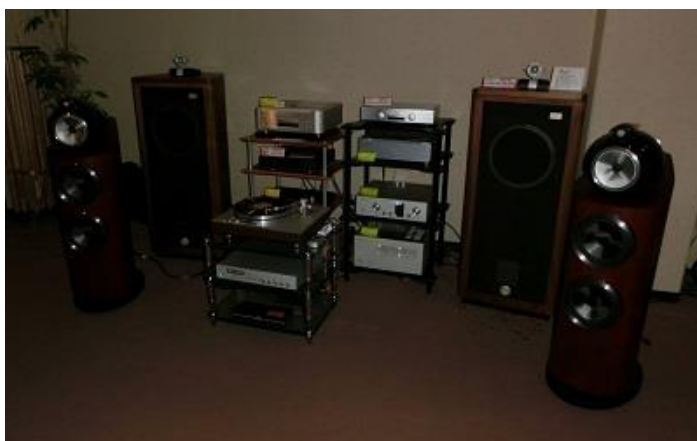
ラックスマン パワーアンプ M-900u

スピーカー：

B&W 802D3

その他：

iPurifier AC+アースケーブル (持参品)

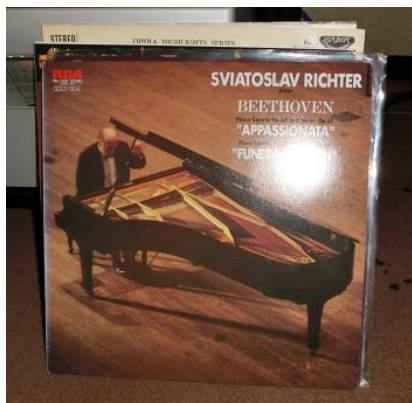


当日のセッティング

<試聴の経過>

試聴は、最初に My Sonic Signature Gold で、M 氏、I 氏の持参された盤を聴いていき、ついで My Sonic Signature Platinum につけかえて再度同じ盤を聴いていきました。

かけられた盤はリヒテルのベートーベンのピアノソナタ（写真）、アルパンベルクのベートーベンの弦楽Q（写真）、ショルティ指揮シカゴのラインの黄金、ライナー指揮シカゴの展覧会の絵、カラヤン指揮ベルリンフィルの舞踏への勧誘などです。



My Sonic Signature Gold は押出しもよく躍動感があり、これだけ聴いているとアナログの良さを十分に味わせてくれています。しかし、My Sonic Signature Platinum に替えると、俄然個々の楽器の音の質感のリアリティが増し、全体として音の品位が向上します。また、3次元的な音場表現と個々の楽器やパートのリアリティがうまく調和しています。これまで聴いてきたなかで、Ultra Eminent Bc が最上と思っていたところ、Signature Gold がそれを上回り、さらに Signature Platinum が王座に取って代わったという経過になりました。

<まとめ>

My Sonic Signature Gold もかなりのクオリティを示すことが再確認できましたが、My Sonic Signature Platinum はさらにそれを上回るポテンシャルをもっていることが分かりました。これまでの My Sonic のカートリッジの試聴経過を合わせると、My Sonic のカートリッジは価格ランクの上昇に見合う着実な再生能力の向上が認められます。

以上